



連合愛知

か わ ら 版

●発行所●

日本労働組合総連合会愛知県連合会
(連合愛知)
名古屋市熱田区金山町1丁目14-18
ワークライフプラザれある4F 〒456-0002
TEL.052(684)0005(代表)
FAX.052(684)0010
ホームページ <http://www.rengo-aichi.or.jp>

2009年5月 第202号

第80回
愛知県中央
メーデー

雨ニモマケズ、 不況ニモマケズ!



あいさつに立つ神野会長



大勢の参加者で埋め尽くされたメーデー会場



集会の場で発言する各代表者

連合愛知は4月25日、矢場公園において「実現しよう労働を中心とする福祉型社会」をスローガンに掲げ、「第80回愛知県中央メーデー」を開催した。降りしきる雨の中、神野会長をはじめ連合愛知三役、愛知県労働局長などの来賓や各級議員、さらには構成組織・単組組合員など、およそ2,300名が結集した。

式典の冒頭、あいさつに立った神野会長は、メーデーの起源を紹介したあと、現在の日本を取り巻く経済状況にふれ、「今後は、わたしたち労働者の視点に立った

経済の転換が必要である。一人ひとりの力は小さいかもしれないが、団結することによって、大きな力を発揮することができる。今こそ、日本のこれからの経済の在り方を国民と共有し、『STOP! THE格差社会』を合言葉にがんばっていこう」と、力強く訴えた。その後、来賓の紹介・あいさつが行われた。

続いて行った集会では、正規・非正規・女性といった立場の異なる3人が、直面している課題や日々感じていることについて発言し、最後に、綱木副会長が「第80回愛知県中央メーデー宣言(案)」を力強く読みあげ、参加者の総意で採択された。

第80回 愛知県中央 メーデー

第80回愛知県中央メーデー宣言

我々は、本日ここに第80回愛知県中央メーデーを開催した。

メーデーは、1886年、アメリカで長時間労働を強いられてきた労働者たちが、「1日の労働を8時間に!」と団結し、立ち上がったことが起源である。その後、働く者が求めた「働く者のための権利獲得」の行動が広く認められ、全世界的に波及していった。

連合は、ここ数年の景気回復局面において「STOP! THE 格差社会」のスローガンを掲げ、行き過ぎた格差を是正し、働くことを通じて誰もが安心して暮らすことができる社会の実現に取り組んできた。

そして今、米国のサブプライムローン問題を発端とした世界的な経済危機により、働く者を取り巻く環境は一層厳しさを増している。

昨年未から雇用情勢は悪化の一途を辿り、非正規労働者を中心に、職を失った人々は新たな仕事に就くことはおろか、住む場所を失うなど困窮を極めている。また、職につく人々も残業手当の減少や生産調整による休業日の設定などにより、収入は大幅に減少し、家計は危機に瀕している。加えて、女性をはじめ、外国人や障がい者など立場の弱い労働者の雇用と働き方は更に痛みを増している。

その結果、これまで増え続けてきた非正規労働者や年収200万円に満たない低所得者層の中には生活の崩壊が生じるなど、日本は安心して暮らすことが大変難しい社会になっている。



「第80回愛知県中央メーデー宣言(案)」を
読みあげる綱木副会長

今こそ働く者の力で日本の社会を立て直さなければならない。

競争のみの社会では人は生きていけない。優しさをもって互いに思いやることが大切という意識を醸成し、「効率」と「競争」優先の日本を、「公正」と「連帯」を重んじる社会に変えるために、労働者をはじめ、社会全体として、これまでの価値観を転換する必要がある。

そして、安定した雇用システムと安心できる社会保障の仕組みを再構築し、内需主導による経済の再生を成し遂げ、次の世代にわたって誰もが希望の持てる社会を実現していく。

こうした考えのもと、私たち労働組合が先頭にたって、健全な社会正義の担い手として、働く仲間・構成組織と一丸となり、すべての働く者の生活と労働の尊厳を守るため、「労働を中心とする福祉型社会」の実現に向けた取り組みを強力に推し進めていく!

以上、ここに宣言する。

2009年4月25日

第80回愛知県中央メーデー

あなたの職場で働くすべての人と家族の
こころの相談室

心の相談室

電話相談

専用電話

052(482)9174

月/15:00~19:00 水/12:00~19:00 金/16:00~20:00
祝祭日を除く。相談料は無料ですが、電話料は相談者負担となります。

面接相談

場所/(社)日本産業カウンセラー協会中部支部
事前の予約が必要です(1回の面接時間は1時間以内)。2回目までの相談は無料で、3回目以降は1回当たり1,000円を相談者に負担して頂きます。

女性が活躍するチャンスをも！

「女性リーダー養成講座2009」がスタート



あいさつに立つ狗飼副会長

連合愛知は、2009活動方針及び「ACTION PLAN AICHI- 」に基づき、「男女平等参画社会の実現を目指しながら、労働運動を取り巻く重要な課題の克服に挑戦し、乗り越えることができる女性リーダー」の養成に向け、今年度より、本講座を実施することとしている。（今年度メンバーは16名）

4月7日、ワークライフプラザあろにおいて実施した開講式には、養成講座メンバーをはじめ、神野会長をはじめ連合愛知三役、構成組織代表者、男女平等参画推進委員、女性委員など合計40名が出席した。

男女平等参画推進委員長である狗飼副会長は、冒頭のあいさつで、「将来を担うべく人材を講座メンバーと

して選出いただいたことに対して感謝申し上げる」と各組織への感謝を述べた後、「これまでに得た情報や経験を互いに共有し、知識を実践へと生かしてほしい」と語った。

その後の基調講演の中で、神野会長は、「女性が活躍するチャンスをつくり、進出を促す場とするため、年間を通じた講座とした。後輩のためにも、『社会を変えていく』という意気込みをもって、互いに切磋琢磨し、十分な成果をおさめてほしい」と述べた。

なお、同日の午後に行われた第1回目の講座では、連合総研の草野忠義理事長による「日本の労働運動の歴史と必要性」と題した講義、お茶の水女子大大学院の永瀬伸子教授による「労働組合の果たす役割と女性の参画」と題した講義があり、参加者は熱心に話に聞き入っていた。



神野会長による基調講演

世界10カ国の教育環境づくりを支援

書き損じはがき約24,500枚を贈呈

連合愛知は、世界の読み書きができない人が学ぶための教育環境づくりを支援する目的で、「書き損じはがきキャンペーン」に取り組んでいる。この書き損じはが



きを有効活用する“世界寺子屋運動”は、国連が1990年を「世界識字年」と制定したことをきっかけに(社)日本ユネスコ協会連盟が始めた運動で、「すべての人々に教育を」をスローガンにしている。

連合愛知は4月21日、各構成組織の積極的な活動によって集約された約24,500枚(約110万円相当)の書き損じはがきと切手・テレホンカードなどを「世界寺子屋運動名古屋実行委員会」に寄贈した。今回寄贈したはがき・切手・テレホンカードなどは、「世界寺子屋運動名古屋実行委員会」によって換金・資金化されたあと、開発途上国のNPO団体を通して有効活用される。これまでに集約されたお金は、世界10カ国の20団体で教育施設の建設・教員の育成など、教育環境整備のための支援金として役立てられている。

書き損じはがきなどを贈呈する度会事務局長

粘り強い交渉で、組合員の生活を守ろう！

「2009中小労組情勢報告交流会」を開催

連合愛知は4月8日、ワークライフプラザれあろにおいて、2009中小労組情勢報告交流会を開催した。この交流会には、中小共闘センター篠崎委員長をはじめ、構成組織からの代表者など、74名の参加があった。

篠崎委員長のあいさつに続いて行われた連合本部の高橋中小労働対策局長による中央の状況報告では、今回の妥結集計の特徴点として、ベアの獲得ができていないこと、例年より妥結時期が1週間程度遅いことなどについての説明があった。

その後、5構成組織の各代表者から、賃上げ妥結状況や今回の春季生活闘争の特徴点、構成組織の中小労組への支援の取り組みなど、闘争状況報告があり、最後に、



あいさつに立つ中小共闘センター篠崎委員長

三村副委員長が、未解決組合の早期妥結に向けて構成組織の一層の支援を呼びかけるとともに、最後まで全力で取り組む決意を述べた。



自動車総連代表

JAM代表

UZENSEN同盟代表

セラミックス連合代表

フード連合代表

闘争状況報告を行う各構成組織代表者

お子さまからシニアの方まで。
一人ひとりに最適な
保障をご用意しました。

家族一人ひとりに、一生つづく大きな安心を。



こくみん共済

個人定期生命共済 - こども定期生命共済 - 終身定期生命共済 - 養老共済 - 終身生命共済

保障のことなら
全労済

全国労働者共済生活協同組合連合会

全労済は、営利を目的としない保障の生協として共済事業を営み、組合員の皆さまの安心とゆとりある暮らしを目指しています。すでに組合員は全国で1,390万人。出資金をお支払いいただいで組合員になれば、各種共済をご利用いただけます。



【確認事項】

1 当面の日程について

2 連合愛知各種委員会の委員交代について

構成組織の事情により、下記のとおり委員を交代する。

委員会関係

委員会名	構成組織名	新	旧
政策委員会	愛教組	加賀 幸一	齋藤 嘉隆
"	"	大杉 周三	田島 幹久
"	自治労	上野 勉	青木 清
中小・雇用労働委員会	自治労	伊藤 邦彦	長谷部範幸
メーデー企画委員会	愛教組	加藤 篤	磯部 昌宏
総務委員会	愛教組	佐藤 英樹	大山 貴弘
"	自治労	植山 論	伊藤 昌弘
男女平等参画推進委員会	愛教組	安藤 里美	前田 孝子
"	自治労	森田 里美	伊藤みゆき
女性委員会	愛教組	安藤 里美	前田 孝子
"	自治労	森田 里美	向井 敦子
青年委員会	愛教組	鬼頭 聡	鈴木 崇之
"	自治労	片岡 靖貴	中川 真徳
"	都市交	片桐 隆司	日比 崇史

幹事会関係

幹事会名	構成組織名	新	旧
政治センター幹事会	愛教組	藤好三知雄	加賀 幸一
"	自治労	伊藤 昌弘	植山 論

3 退任役員への功労記念品の贈呈について

4 常任執行委員会の代理者の交代について

構成組織の事情により、以下のとおり代理者の交代を行う。

構成組織	新	旧
愛教組	藤好三知雄	加賀 幸一
"	寺本 豊子	渡辺 律子

5 連合愛知2009年度会計中間決算報告並びに会計監査報告

6 連合愛知「2010年新春交礼会」の日程について

日時:2010年1月6日(水)12:00~13:30

場所:日本ガイシフォーラムレセプションホール

7 愛知労福協第41回通常総会の代議員要請について

8 構成組織の組織拡大について

9 第11回「日本高齢・退職者団体連合東海ブロック」連絡会議への参加について

10 「連合愛知 労災防止キャンペーン活動2009」の展開について

11 「連合愛知2009安全衛生担当者研修会」の開催について

日時:2009年6月12日(金)10:00~17:00

場所:ワークライフプラザれある 6階大会議室

12 2009年度執行委員非選出構成組織懇談会の開催について

日時:2009年6月30日(火)14:00~17:00

場所:ワークライフプラザれある 6階大会議室

13 青年委員会「第2回学習会」の開催について

日時:2009年5月22日(金)13:00~23日(土)12:30

場所:安城市内

14 「2009ふれあいフェスティバル」の開催について

日時:2009年7月24日(金)19:00~21:15

場所:ホテルグランコート名古屋

15 連合愛知「2009官公部門学習会」の開催について

日時:2009年6月10日(水)15:30~17:00

場所:ワークライフプラザれある 6階大会議室

16 政策・制度の実現に向けた街頭宣伝行動の取り組みについて

17 第10回「地域政策推進フォーラム」の開催について

日時:2009年6月3日(水)13:30~4日(木)11:30

場所:全トヨタ労連研修センター「つどいの丘」

18 第80回愛知県中央メーデースローガン・集会宣言(案)について

【議事】

1 非専従役員交代について

構成組織の事情により、以下のとおり交代を行う。



加賀副会長



安藤副会長

副会長の交代

構成組織	新	旧
愛教組	加賀 幸一	齋藤 嘉隆
"	安藤 里美	前田 孝子

執行委員の交代

構成組織	新	旧
愛教組	藤好三知雄	加賀 幸一
"	寺本 豊子	渡辺 律子
自治労	水野 ゆり	上野 勉
都市交	奥野 則男	高田 正男

2 各種審議会・委員会等への派遣について

3 諸規則の一部改定(案)について

4 東海市議会議員補欠選挙の候補者推薦について

投・開票日:2009年4月26日(日)

推薦候補者:笹本 洋(ささと ひろし)

[無所属・基幹労連・新人]

5 西尾市議会議員選挙の候補者推薦について

投・開票日:2009年5月3日(日)

推薦候補者:工藤 光雄(くどう みつお)

[無所属・自動車総連・現2]

田中 弘(たなか ひろし)

[無所属・現2]

6 第45回衆議院議員総選挙の候補者推薦取り消しについて

推薦候補者:河村たかし氏(愛知県第1区)

理由:民主党愛知県連からの取り下げ申請による。

7 名古屋市長選挙への連合愛知の対応について

さらなる地協活動の充実を！

岡崎市・幸田町との予算説明懇談会を開催

2009年3月30日(月)に岡崎市との予算説明懇談会、2009年3月31日(火)には幸田町との予算説明懇談会を、三河中



柴田岡崎市長から回答書を受理する直塚代表

地協の三役と幹事及び政策推進議員の参加のもと開催しました。昨年10月に提出した「政策要望書」及び今年1月に世界同時金融危機下の経済・雇用情勢に対する連

合の緊急対応として提出した「政策運営および予算編成等に関する要請書」に対して、2009年度の施策と予算への反映状況について岡崎市及び幸田町より回答をいただき、その内容について、活発な意見交換を行いました。



近藤幸田町長から回答書を受理する直塚代表

「雇用と就労・自立支援のためのカンパ」街頭活動



街頭活動風景(名鉄東岡崎駅頭)

連合愛知の要請に基づき、三河中地協両地区連の役員と政策推進議員の協力のもと、4月2日(木)、

3日(金)に名鉄東岡崎駅及び西尾駅頭において、連合の働く意欲のある仲間のための「雇用と就労・自立支援のためのカンパ」を地域の皆様に呼びかけました。今回のカンパ活動の主旨を理解して下さった地域の方から、善意のカンパ金をいただくことができました。



地域の皆様がカンパに協力

さらなる地協活動の充実を

三河中地協は、岡崎市、西尾市、額田郡、幡豆郡に所在する86労働組合、39,532人の組合員で構成されています。事務所は、岡崎市勤労文化センターの1Fにあります。

多くの勤労者や未組織の仲間に信頼を得るには、地域に密着した運動が必要です。そこで、労福協等の地域各種団体との連携を密にし、地域に根ざした顔が見える地協活動の充実・強化をめざして、2007

年11月より「安心ネットワーク三河中地域センター」を開設しています。

さらなる地協活動の充実に向け、皆様からのご指導・ご支援をよろしくお願いいたします。



三河中地協のスタッフ
左から山本職員、梅田事務局長